

HAKUBA

議会だより

148号

3月定例会号

令和6年4月30日発行



photo:堀之内地区

新たに村の文化財指定された田頭の枝垂れ桜

- 令和6年度予算審議 2~5
- 常任委員会 6~7
- 議決結果一覧 8
- 村政を問う 一般質問 9~14
- 図書館等複合施設は、子育て支援施設先行へ 15
- 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 16



20年では最高額

令和6年度予算

一般会計 **67億600万円**
(前年度予算比 +10.73%)

特別会計 **12億1,563万円**
(前年度予算比 +6.50%)



ざっくりさん



予算委員長報告

予算特別委員会に付託された案件は予算議案5件で、5日間にわたり審査しました。ここでは、特にお知らせしたい目玉事業のみ掲載し、その他の審議内容は、**予算特別委員長報告**としてHPに公開しますので、ぜひご覧ください。



解説

予算規模67億6百万円は、近隣町村と比べ大変大きな予算規模となっています。行政は、重点的取り組み分野として6点を掲げるも、財政状況は厳しく、昨年末発生した黒豆沢土砂災害の復旧に加え、庁内DX化の加速など特殊事情と、実質公債費比率の18%超えを未然に防ぐための村債繰上げ償還のため、財政調整基金4千5百万円、減債基金1億6千2百万円をそれぞれ取り崩す。また、ふるさと白馬村を応援する基金からの繰入金金は4億3千8百万円と、大きく依存するものとなっていることは懸念されます。

ゼロカーボンビジョンの実現

環境GX推進支援委託料
ゼロエネ住宅支援補助金

800万円
150万円 など

【主な審査内容】

- Q GXコンサルティングの役割と周知は。
- A ロードマップ作成によって具体的なものが出てくる。ビジョンも具体的になるので、その段階で媒体を使って周知し行動に移せるようにする。



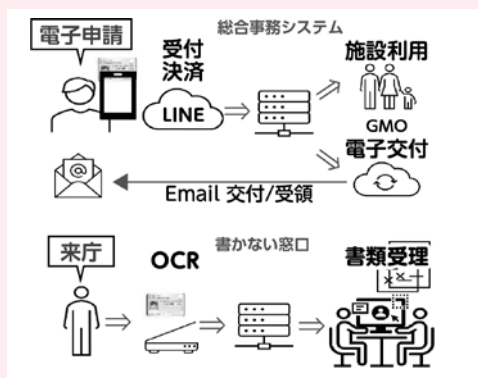
令和6年度予算を審議しました 67億6百万円は、ここ

デジタルトランスフォーメーション(DX)

ふるさと納税特設サイト構築委託料	400万円
書かない窓口システム構築	2,804万円
LINEを活用したオンライン役場	167万円 など

【主な審査内容】

- Q DXスマートビレッジ推進計画の村民向け周知は。
- A 先ずは庁内のDX化を推進する。計画が進んだ段階で、事業者・村民向けのDXを進めていく。
- Q DX化の書かない窓口等は、1年かけてのシステム構築か。次の冬の外国人転入騒ぎは解消されるのか。
- A 開始時期は別々だが、全て令和6年度中に開始する。窓口対応は間に合うようにしたい。



子育て支援・少子化対策

子ども第3の居場所事業	1,440万円
はくばっ子応援交付金事業	214万円
スクールバス運行事業	2,874万円 など

【主な審査内容】

- Q 第3の居場所の開園予定と希望人数の把握は。
- A 夏ごろ開園予定。想定はしているが、明確な人数把握がないのは、突然居場所が必要になる児童生徒の受け皿となるのがこの施設。
- Q スクールバスは通年運行するとのことだが、今回の実証の中身は。通年運行にする場合も中学生を乗せるか。
- A AIデマンドとの関係で、タクシー乗車のやり取りをAIアプリで出来るかの検証を行う。バスを出す範囲や中学生を乗せることはこれまでどおり。

※ DXとは…デジタル技術を活用して、役場の業務の効率化や合理化と村民への利便性向上を図ること。

農地保全と地産

犬川電動ゲート小水力発電設置建設工事 1億420万円
ほ場整備事業 932万円 など

【主な審査内容】

- Q 地籍調査に基づいた課税反映の今後の考え方は。課税に向けて説明をしていかなければならないのでは。
- A 令和9年度評価替えて反映すると庁内での考え方は統一している。年次計画を定めたばかりなのでタイミングを見て説明したい。
- Q 目標地図作成の地域計画は、白馬村の今後の農業を考えていくうえで重要と考えるが方向性は。
- A この計画は令和6年度の農政課の大きな柱の一つで、昨年度から農業委員会とも話し合いをしており、農業振興地域の見直しも行う。

支え合う福祉と健康

デマンドタクシー運行事業 4,975万円
ふれあいセンター冷房設備の導入 2,038万円

【主な審査内容】

- Q AIデマンドタクシー(ふれAI号)は、観光交通と生活交通の混乗が心配。村民と観光客の金額が一緒なのはなぜか。
- A 混乗は冬の昼間を心配しているが、公共交通として始めた以上は対応しなければならない。運賃区分は法律上できないが、村民には定期券や回数券を考える。今後のことは始めてみないとわからない。
- Q ふれAI号が、家の前で乗降できる28人の決め方は。
- A 明確な基準はなく、いま現在運行している中で配慮が必要な人を社協と包括でヒアリングして抽出した。

意見 その28人については、福祉有償運送やライドシェアなど工夫したほうがいいと思う。

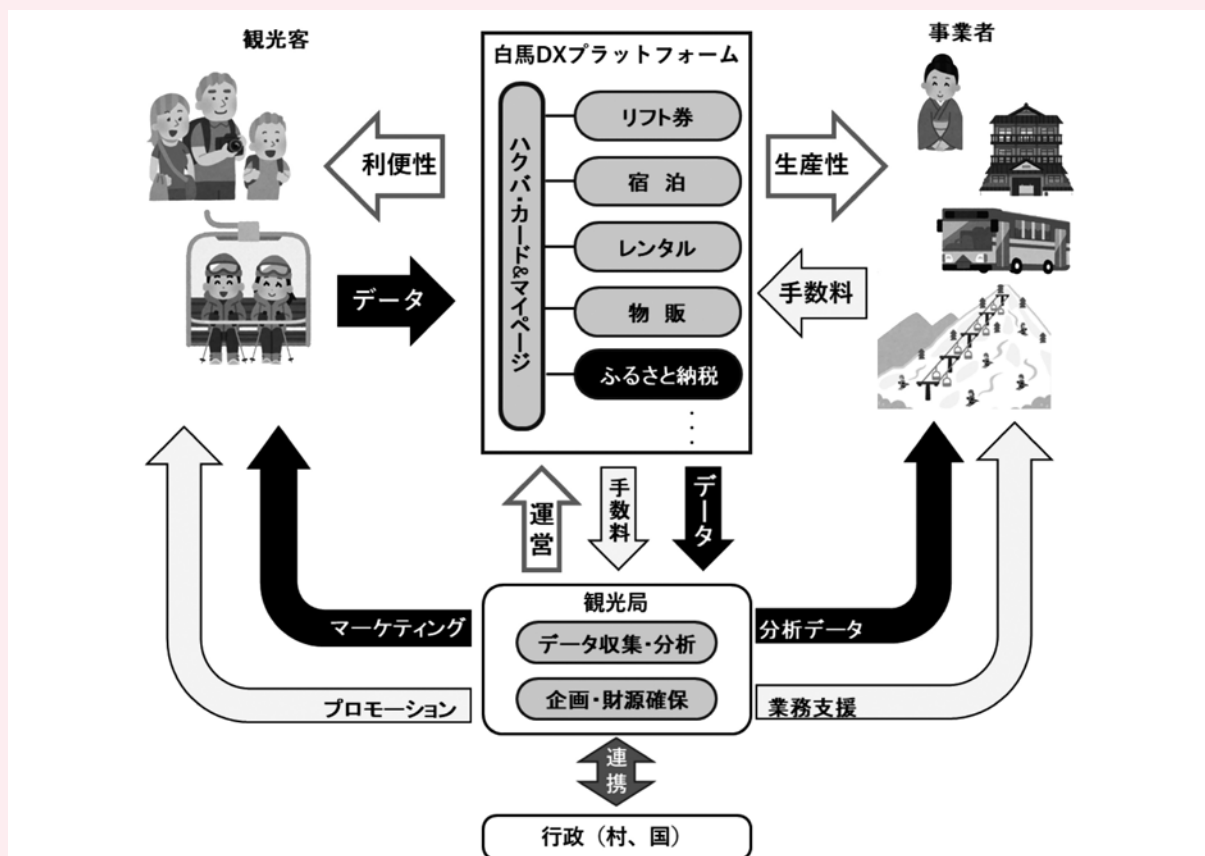


- Q コロナワクチンは今後どのくらいお金がかかって、どのような仕組みで補助されるか。罹患した場合はどのようにするか。
- A 価格は国からは明言されていないが、インフルエンザを例に試算の金額が示され、今回の予算はそれに基つき65歳以上の接種で計算している。医療費補助の予算計上はない。

意見 带状疱疹に罹ってしまうと高額な治療費が掛かる。年配者の罹患が多いので助成を。

世界水準を意識した観光

八方池山荘建替え官民連携アドバイザー業務委託料	2,420万円
観光地経営会議等運営委託料	295万円
デジタル田園都市国家構想交付金事業(略称:デジ田)	5,000万円



行政が示す「デジ田」交付金を活用して進めるデジタル化計画模式図

【主な審査内容】

Q 八方池山荘建替え計画は、令和11年オープンだと遅すぎる。図書館複合施設は長くかけ過ぎてとん挫した。スピード感をもってやったほうがいいのでは。

A 公共施設管理計画に沿って取組んでいる。準備期間が長いのは、参画する事業者の意欲や自ら出来る範囲をみつけて、それに基づいた選定の仕様書を作っていこうと考えている。

意見 9社が意欲を示しているのであれば、設計もオーバーラップさせ競合させて提案させればよい。ゼロカーボンの象徴的なものにしていくなら、GX統括監の協力を得ながら進めてほしい。

Q デジ田は、村内の事業者とにかくに参画してもらえるかが大事。これまでの観光局事業には参画者が少なかった。観光局の会員が少ないのが根本問題では。

A デジタルリフト券の取扱いや電子感謝券を、会員でなければ使えないという形をとっていかうと考えている。

意見 観光局の事業計画にはKPIを設定させてほしい。KPIの一つが会員数だと思う。

黒豆沢土砂災害被災者に対する村税減免条例制定

主な議案の審査内容を掲載します。

議案第4号

白馬村黒豆沢土砂災害による被害者に対する村税の減免の特例に関する条例の制定について

議案の概要

令和5年12月16日に発生した黒豆沢土砂災害により被災した方で、村税の納税義務がある方に対し、令和6年度に課する村税の軽減、免除をするための条例を制定するもの。

Q

村が対象者を把握していて対象とするのか、被災者がこの条例を見て申請するのか。

A

対象者に郵送で案内を出し、申請をしていただくことで考えている。

議案第10号

白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

議案の概要

長野県が示す「国民健康保険運営の中期改革方針」に基づき、令和9年度までに、二次医療圏内の各市町村が応益割保険料を標準保険料に近づけていく必要があることから、国民健康保険料率の改正を行うもの。

Q

改正後に全体としては引き下げか、引き上げか。また応益割を少なくするののか、応能割を少なくするののか。

A

昨年と比較したが、変わらないケースが非常に多かった。一部下がる場合もあったが、税率の引き上げの改正ではないので、小幅にとどまることになる。わずかだが応益割の方へ増えていく。標準税率が出てきたら再検討する。

議案第14号

白馬村放課後子ども教室設置条例の一部を改正する条例について

議案の概要

白馬南小学校において放課後子ども教室を開設することに伴い、放課後子ども教室設置条例の一部を改正するもの。

Q

児童クラブと子ども教室の部屋は分かれるのか。

A

実施曜日等は募集して計画していくが、同じ曜日の場合は同じ場所で開設する。

議案第19号

令和5年度白馬村一般会計補正予算(第8号)

議案の概要

歳入歳出それぞれ1億1,594万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を70億1,176万7千円とするもの。

【総務課関係】

ふるさと納税事業2,279万7千円の減額は、収入見込額を9千万円減額し、年間の寄付の収入見込額を5億5千万円にすることに伴う関連諸経費を、今年度の実績に伴い減額するもの。

Q

ふるさと納税の金額は、それに伴う委託事業をした「しくみ(株)」への支払金額はどのくらいになるのか。

A

2月末時点での寄付額は1万2,041件で5億4,400万円余。3月分は確定していないが、最終見込みは5億5千万円。10%分は4,696万5千円。返礼品分は1億4,499万4千円。

議案第10号

白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての反対討論

反対討論

加藤 亮輔

保険料率の都道府県単位統一化を目指し、まずは令和9年までに大北圏域を統一する条例。白馬村は大北圏域内で低い料率。村の国保財政が赤字でないにも関わらず引き上げで、保険料が値上がりする。よって反対。

インバウンド客増加！ 「観光防災マニュアル」多言語化へ

議案第19号

令和5年度白馬村一般会計 補正予算(第8号)

概要は6ページ議案第19号と同じ

【農政課関係】

土地改良区負担金100万円の増額は、昨年12月の豪雨による平川頭首工土砂撤去に要する、白馬村土地改良区への負担金を交付するもの。圃場整備事業385万円の増額は、事業費確定によるもの。

Q

圃場整備事業の進捗状況は。また高収益作物は検討しているか。

A

北城南部地区は現在3工区、4工区を行っている。3工区は基盤が終わっていないので春からの作付けは全面出来ない。4工区は水路工事が終わっていないことと、土不足が影響し一部作付けが出来ない状況で地権者には了承済み。

北城北部地区は令和7年度の事業採択の予定で進めていたが合意形成の関係で延びている。現在地権者から仮同意を取り圃場の希望エリアが決まってきたので令和8年度の事業採択に向けて進めている。

高収益作物は、白ネギの作付けを行ったところ成功したという事例があり、今後も研究を進めていきたい。

【観光課関係】

観光商工費国庫補助金の減額は、八方池山荘の先導的官民連携支援業務の2次申請での採択による731万1千円の減額。観光宣伝振興費22万9千円の増額は、21観光戦略事業の翻訳業務委託料で観光地観光防災マニュアルの翻訳業務委託によるもの。

Q

翻訳された観光防災マニュアルの配布方法や多言語化の対応は。

A

外国人の宿泊施設や飲食店、観光事業者に配布する。多言語化は今後検討する。

Q

八方池山荘の官民連携事業について、補助が減額になり足りない部分を一般財源で出している。補助金をもらわないとできない事業だと言うが、今回はデジ田※の2次で通ったが、今後も削られる可能性はあるか。

A

今回はかなり応募が多く、道の駅の整備などに1次審査で採択されるところもあった。来年度以降に関しては当初予算に計上している状況なので、これ以上一般財源が増える可能性は一応ない。逆に予算計上しているが、補助金として取っていきけるように努力する。

【上下水道課関係】

環境衛生費226万9千円減額は、環境衛生事業の工事請負費110万円の増額と合併処理浄化槽整備事業補助金

336万9千円減額によるもの。

Q

村内で大型の計画がされているところは、上下水道が通っているところか。浄化槽を整備するような計画はない。どの計画も下水道への排出を予定している。

A



工事が進む北城南部のは場整備。表土の不足が懸念されている。

詳細はHPに掲載の各委員長報告をお読み下さい。

※各委員長報告は、正式に公開される「会議録」と違い、審議内容(発言)を要約し纏めて本会議場で発表する原稿として編集されたものです。



← 審査結果の一覧は、8ページをご覧ください。

3月定例会 議決結果

○…可決 ×…否決

番号	件 名	総務社会 委員会	産業経済 委員会	予算特別 委員会	議決結果
発委第1号	白馬村政治倫理条例の一部を改正する条例について	委員会付託なし			初日可決
発委第2号	白馬村議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について				初日可決
議案第1号	工事の施行に関する変更協定の締結について				初日可決
議案第2号	白馬村農業集落排水事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例について				初日可決
議案第3号	令和5年度白馬村一般会計補正予算（第7号）				初日可決
議案第4号	白馬村黒豆沢土砂災害による被災者に対する村税の減免の特例に関する条例の制定について	○	—	—	可決
議案第5号	白馬村犯罪被害者等支援条例の制定について	○	—	—	可決
議案第6号	白馬村文化財保護条例の制定について	○	—	—	可決
議案第7号	パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決
議案第8号	フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決
議案第9号	ふるさと白馬村を応援する条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決
議案第10号	白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決 (反対：加藤（亮）)
議案第11号	白馬村保育料条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決
議案第12号	白馬村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決
議案第13号	白馬村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決
議案第14号	白馬村放課後子ども教室設置条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決
議案第15号	白馬村太陽光発電施設の設置管理等に関する条例の一部を改正する条例について	—	○	—	可決
議案第16号	白馬村使用料条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決
議案第17号	白馬村ウイング21条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決
議案第18号	白馬村体育施設条例の一部を改正する条例について	○	—	—	可決
議案第19号	令和5年度白馬村一般会計補正予算（第8号）	○	○	—	可決
議案第20号	令和5年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	○	—	—	可決
議案第21号	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	—	—	可決
議案第22号	令和5年度白馬村水道事業会計補正予算（第4号）	—	○	—	可決
議案第23号	令和5年度白馬村下水道事業会計補正予算（第4号）	—	○	—	可決
議案第24号	令和6年度白馬村一般会計予算	—	—	○	可決
議案第25号	令和6年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算	—	—	○	可決 (反対：加藤（亮）)
議案第26号	令和6年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算	—	—	○	可決
議案第27号	令和6年度白馬村水道事業会計予算	—	—	○	可決
議案第28号	令和6年度白馬村下水道事業会計予算	—	—	○	可決

3月定例会 請願・陳情 審査結果

番号	件 名	総務社会 委員会	産業経済 委員会	予算特別 委員会	議決結果
陳情第1号	「刑事訴訟法（再審法）の改正を国に求める意見書」の提出を求める陳情	○	—	—	可決

3月定例会 追加議案(3月21日上程) 議決結果

番号	件 名	総務社会 委員会	産業経済 委員会	予算特別 委員会	議決結果
議案第29号	白馬村税条例の一部を改正する条例について	委員会付託なし			可決
議案第30号	令和5年度白馬村一般会計補佐予算（第9号）				可決
同意第1号	白馬村固定資産評価審査委員会委員の選任について				可決
発委第3号	白馬村議会の議員が長期欠席した場合における議員報酬等の特例に関する条例の制定について				可決
発委第4号	刑事訴訟法（再審法）の改正を求める意見書				可決

一般質問

安全で活力ある 村づくりをめざして 村政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。

本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

質問者一覧

育休退園の廃止の考えは

加藤 ソフィー 10

建替え対象の南小、北小の建設予算総額は

太谷 修助 11

本村の住宅耐震化率は

増井 春美 12

村には自治基本条例が必要。策定しては

津滝 俊幸 13

ふれAI号の乗降場所、80ヶ所では少ない

加藤 亮輔 14

フォトニュース



白馬村黒豆沢土砂災害。堆積した土砂撤去や水路復旧等、一步步進む。

育休退園の廃止の考 えは

答 前向きに検討したい



加藤 ソフィー

【子育て世代が定住するには】

問 住まいの確保は大きな課題。空き家バンクはいつ頃の創設か。また、運営体制は。

答 体制を整えるためには半年ほどかかる見込み。詳細はまだ決まっておらず、地域おこし協力隊が業務の中心となる。

問 空き家バンクが実のある制度になるかは今後の体制によって決まってくる。所有者との綿密なやり取りなども含めて、入れ

替わりの激しい地域おこし協力隊がその職務を担うのか。

答 協力隊のみに任せるものではなく、他の職員も助言をしたり、地域に向いたりする。

問 人員体制に関して、総務課に様々な業務が集中しすぎなのでは。

答 業務が集中しすぎないような組織体制を構築するように取り組んでいる。

問 待機児童は減少したとのことだが、保育士不足は解消されたのか。

答 新しい保育園が開園したことにより、待機児童は昨年度の16名から2名と大幅に減少。保育士数は、施設としての最低基準は満たしているが、余裕がないのが現状。特に延長保育に

ついて人材確保が難しい状況。快適な職場環境づくりが課題。

問 具体的な職場環境改善策は。

答 その日の保育について振り返るなど話し合うことのできる時間の余裕が必要。来年度の予算に業務負担軽減のための物品購入費を計上した。

問 育休退園という制度で退園を迫られるケースがあり、辛いという声を聞く。どのような制度なのか。

答 母親が下の子の育休に入った段階で、未満児の児童は退園をし、保育の優先度が高いとされる方が代わりに入る仕組みになっている。子育て世代の家庭状況から勘案すると、大変さも理解している。今後少しずつ改善し、廃止に向けて前向きに検討していきたい。

問 ロードマップはいつ完成するのか

答 令和5年度末には公表する予定

【ゼロカーボンビジョン実現へ向けて】

問 GX※統括監の任期と業務内容は。

答 令和5年12月に着任し、任期は

令和6年度末まで。自治体のGX脱炭素事業に関する検討支援、脱炭素事業を通じた地域経済の活性化策の検討支援、地域GX社会の形成支援の取組を行う。

問 総務課の令和5年度運営方針において、ゼロカー

ボンビジョン達成に向けたロードマップの作成とあるが、進捗状況は。

答 優先順位付けをし、情報収集や整理をした。3月末には策定したロードマップを公表する予定。

問 来年度の取り組み方針は。

答 重点分野の一つとして各課横断的に取り組み、名古屋大学と脱炭素実証事業の計画づくりをしており、4月上旬には連携協定を締結予定。

保育所の職員配置基準

	保育士1人	子ども
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		20
4、5歳児		30(25)

国の配置基準は、4～5歳児はR6年度から76年ぶりに25名に改訂されるが、先進諸国の中でも最低レベル

※GX(グリーントランスフォーメーション)…脱炭素社会に向けて再生可能なクリーンエネルギーに転換する取り組み



太谷 修助

問 【小中学校再編、統合の考えは】
10年後の小中学生の児童生徒数は、経産省の地域経済分析システムでは、令和

問 建替え対象の南小、北小の建設予算総額は

答 南北小学校の合算した本体工事費で約27億円

17年の人口推計で南小81人、北小203人。令和5年度と比較すると、南小21人減、北小70人減、両校合計91人減の284人。中学校は、72人減の157名。

問 多文化共生社会が進む中で、10年後の人口増減を想定しているか。

答 総務省の「国勢調査」と国立人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」から推計をしており、

外国籍の方の転出入数も加味されている。白馬村独自の動きを加味した推計とはなっていないので、白馬村が他自治体と比べ外国籍の方の増加が多いことなどを考えると、全国的な推移率とは異なってくる可能性があり、想定できていない。

問 小中一貫校を含めた義務教育校に移行しつつある自治体が出ている。この学園構想のメリット、デメリットは。

答 2016年の法改正で6・3制度に縛られずに柔軟に学年制を変更でき、先を見据えた教育課程の

編成が可能になり、大北地区では美麻小中学校、八坂中学校がある。

メリットは、9年間の一貫教育で小中の環境の変化が少なく「中1ギャップ」が少ない為不登校やいじめが少なく、異学年交流がスムーズ、生徒の情報が共有し易く、中学校の専科の先生方に指導を頂くことで負担軽減が図られる利点がある。

デメリットは、9年間の人間関係が固定され、新たな人間関係づくりに馴染めなくなる例がみられる。先生方も小中学校の教員免許をもって両方の指導をしなければならぬ為、負担が多くなる。

問 将来の白馬村維持のために、学識経験者だけでなく広く村民と対話し、都市部と遜色ない教育環境を築く手立てを講じる考えは。

答 昨年9月に公表された「学校のあり方検討委員会」のアンケートでは意見が分かれ、教職員は今後の少子化を見据え、少人数教育できめ細かな指導をあげた

のに対し、保護者・村民の皆さんは小規模校であることさらに強みとして、他の学校ではできない魅力的な独自の教育課程を望む意見が多かった。幅広い村民の皆さんから意見を聞いて、安心安全な教育環境と地域に根差した歴史文化の素材を生か

した教材を作成していきたい。今後も村内の小中学校における児童生徒数の減少や学校施設の老朽化に対応しながら、将来に渡って質の高い教育を維持するための教育振興基本計画を考えていきたい。



美麻小中学校は、鹿島槍〜白馬岳を一望できる高台にあり、小中一貫型の小規模義務教育校で3月18日には11名の9年生が希望を胸に学び舎を後にした。

問 本村の住宅耐震化率は

答 令和6年1月1日現在、
83.2%



増井 春美

【最悪のシナリオを想定した震災対策】

問 県は住宅耐震化の補助金の拡充など積極的な姿勢だが、村は。

答 木造住宅の耐震化は喫緊の課題。第3期白馬村耐震改修促進計画に基づき、今後も計画的に建築物の耐震化を促進したいと考えている。

問 一般避難所の受け入れ態勢の見直しは。

答 一般避難所は、最大震度7の地震を想定し、そこから想定される避難者を全て受け入れることが可

能な計画になっている。現段階で見直す予定はない。

問 指定避難所に必要な空間は、一人当たり3.3

mが必要と言われており全国的に見直しがされている。本村の指定避難所の所収容人数は、一人当たり1.7m位で雑魚寝状態になる。見直しは。

答 県の避難所マニュアルの策定指針では、避難所の一人当たり面積3m

程度が基準。床面積に対する見直しは必要と思うが、県が見直せば村も全体を見直すことになる。

問 指定避難所に段ボールベット等が設置さ

れると、さらに収容人数が制限される。震災時には追加の指定避難所が必要と思うが検討は。

答 追加指定避難所にするかどうかは、一時的にそこに留まって移動する指定避難所とするか、運用上で指定避難所とするのかは考えなければならぬと思う。

問 福祉避難所は、市町村が事前に施設を指定

するのか、施設側と協定を結ぶこととされているが、開設・運営の訓練をしているか。

答 現状のなかで訓練というのは難しい状況

だが、能登半島地震もあつたので訓練はしていかなければならないと思う。広域的なものについては県がガイドラインを示している。

問 県は災害発生時にDWA T(災害派遣福祉

社チーム)を設置して、避難所などで要配慮者のケアにあたるシステムができていると思うが、県との連携や情報共有の具体的な検討をされているか。

答 県と災害時応援協定を結んでいる。

問 村が保有している防災用資機材・備蓄品は。

答 非常用食糧7708食、水2ℓ 824本、

500ml 1480本、毛布109枚、段ボールベット試供品2台、その他にエアベツト、折り畳みベツド等を保有している。

問 備蓄は、地域防災計画で目標値を定めている。毛布は令和8年までに3000枚だが、全然足りていなく、携帯用トイレや乳児用の粉ミルクなども用意できてない。

自主防災組織連合会を設置する考えは。

答 防災組織の連絡会というような方法もあると思うので、調査をしながら取り組む。

問 防災士を増やすための周知は。

答 白馬村行政公式ホームページに広報記事掲載し、防災士に関する周知・啓発を進めてきた。

今後とも広報誌などを通じた周知・啓発を継続して進めるとともに、村民が養成講座等を受講しやすい環境づくりについて検討を進めていきたい。



能登半島地震、避難所支援(日本防災士会長野県支部)の皆さん。会員が交代・引継ぎしながら継続して珠洲市の避難所に入っている。



津滝 俊幸

【多文化共生社会推進状況とそれに伴う村政運営】

問 村には自治基本条例が必要。策定しては

答 大きな意義があり2年以内に制定していく

足内容を検討しているか。

答 第5次総合計画との整合性や計画を推進していく上で必要な条例。理念の周知とそれぞれが果たすべき役割が、どの程度の効果をもたらしているかについては検証が必要。社会変化の時代背景や地域を取り巻く情勢、住民意見を踏まえながら条例のあり方を考える。

問 外国人への災害対応の条文が無い。その対応は。

答 先に発生した土砂災害において外国人の避難者がいた。現状は一般村民と同様の避難所への受入れ対応をする。外国人観光客は白馬村避難支援プランにおいて避難行動要支援者として位置づけられ、多言語による情報提供をすることになっている。外国人を受入れるすべての事業者に「白馬村防災マニュアル」の内容を理解してほしい。今後、英語版の「観光防災マニュアル」の作成をしていく。また、「白馬村防災アプリ」も英語版への

システム改修をしていく。

問 外国人からの緊急通報や防犯対策への対応は。

答 緊急時はHPやFBを通してインターネットからの情報提供が中心となる。また、国の災害時情報提供アプリ「セーフティ・チップス」の利用を宿泊業者へ普及促進していく。防犯については、マナー条例の遵守と啓発を関係機関と進め、犯罪やトラブルを未然に防ぐ活動をしていく。

問 外国人定住者の区への加入や学校での交流、村での暮らし方に関わる苦情の窓口の状況は。

答 区長への聞き取り調査により、外国人登録世帯は391世帯で、その内、区への加入は98世帯。加入率は25%。加入案内は英語表記のものが無いことから今後対応できるように進める。また、行政HPでは多言語化した暮らし方に関する「白馬村多文化支援サイト」など利用するよう紹介している。

問 村での外国人登録の簡便化の対応は。

答 短期間に多くの外国人従業員が登録をするため、窓口混雑の軽減策として業務体制を見直し、転入手続きは予約制とし、職員へ負荷のかからない様にに対応している。しかし、現状は著しい変動の転入数で対応に苦慮している。先頃、河野デジタル担当大臣を訪問し、在留カードとマイナンバーの連携や外国人の転入者数の多い自治体の状況を説明し、要望書を直接手渡してきた。大臣も課題と内容を理解してくれ、今後の改善が期待できる方向にある。

問 自治基本条例の制定は。

答 「住民自治型条例」として、住民の参加・参画や住民投票を定める条例タイプを目標とし、制定の意義については住民自治の仕組みを明確にし、それを住民と共有し、検討していくプロセスを通じて、将来の白馬村の目指す方向性や住民参加のあり方について、共に考える機会を早い段階で持ち、取り組んで行きたい。

冬季の外国人転入者数と日本人転入者数

12月の住民記録では、785人の転入者の94% (740人) が外国人。11月から1月では950人の外国人が転入しているが、1月から4月にかけて、このほとんどが転出すると見込まれる。

・参考 (令和5年(1月～12月)の外国人国外転入者総数1,065人、転入総数が1,448人なので、73.5%が外国人。



多文化共生支援サイト

問 ふれAⅠ号の乗降場所、80ヶ所では少ない

答 今は計画の段階。利用後状況に応じて改善



加藤 亮輔

【「世界水準」を意識した2024年度村づくり予算

問 今予算の優先順位トップの事業とその理由は。

答 順位を付けるのは難しい。暮らす上での基本要素である「福祉と健康の村づくり」は、最上位。その事業を充実させる財源が必要。財源確保につながる経済活動の活性化策、ふるさと納税、新たな財源の拡充事業も高い。また、ゼロカーボン等の環境施策は、健康や生命に関わる重要な事業と考える。

きちんと村民に大きく宣伝してほしい。

答 先ずは、計画ができたことを広報した。さらに乗り方、乗降場所も含めたチラシも作り、動画で予約・乗り方等も周知したい。さらに、地区の総会、お年寄りの集まり等で、職員が実際に向いて周知を図りたい。

問 事業に対するの優先順位があるとの事だが、図書館をつくる事は未来投資として真剣に考えてほしい。その優先順位は。

答 住民の生命、財産に関わるものが第一位だと思う。それ以外は状況によって変わる。図書館が何番目という言い方はできない。

問 県教育委員会が行った学校徴収金の調査結果から、給食費の項目を21年度と22年度を比較。池田町は8,830円の減少。松川村は6,349円減少。小谷村は2,050円減少。しかし、白馬村は641円増加。村が、現在の補助額を小、中学生とも1食に付き、50円補

助に増額して試算すると、合計438万円。この額で、地域格差を縮小できるが、村は最初から拡大しない方針だったのか。

答 給食費については、できればという気持ち

は変わらないが、来年度の予算には付けることができなかった。



4月1日から村内を運行している新しい公共交通『ふれAⅠ号』
運行時間は、8:00～17:00

特別
解説図書館等複合施設は老朽化が進む子育て支援施設を
先行整備する方針へ

図書館等複合施設建設の検討について、R3年度より基本計画の見直しと建設に向けた財源確保についての検討を行政側は行ってきました。その上で、子育て支援ルーム西側を候補地とし、住民の意見を最大限に反映させた理想的な複合施設の実現には、多額の事業費がかかることが明らかになりました。残念ながら、本村の財政状況では村単体での建設、運営が困難であるため、R4年度において官民連携による建設と運営を検討してきましたが、企業の参入を期待できる結果とはなりませんでした。

R5年度は事業規模を縮小した上で、引き続き官民連携の可能性を探りましたが、最終的に合意を得られる企業はなく、官民連携手法を断念。村が事業主体とならざるを得ない結果となりました。

また、従来通り図書館複合施設として建設するには数億円の一般財源の確保が必要と試算され、R13年度ごろから

は小学校施設整備にも多額の一般財源が必要なため、村の貯金である基金を取崩して行うには課題が多く、財源確保が難しい状況であることも判明しました。

議会側からも、検討に時間をかけ過ぎている本事業に関して、耐用年数を大幅に過ぎている子育て支援施設の建て替えを分離して考え、優先して取り組むべきとの意見が多数出てきていました。行政側は、複数案で財政シミュレーションを行い、その結果、本村の財政状況から考えると、子育て支援ルーム西側の用地を新たに取得した上で、子育て支援施設を先行し建設した後、現在の建物を取り壊す。R10年から運用開始を目指すスケジュールを進めていくと結論を出しました。よって図書館は、住民の希望する充実した施設となるためにも十分な財源を確保する必要があることから、先送りせざるを得ない結果となりました。

近隣自治体の
「議会だより」が閲覧可能に

最新版から過去発行のものも含め、役場3階の議会事務局前の図書棚に納めています。



新事務局体制

局長：下川浩毅（留任）
主査：吉沢美穂（着任）

今年度より書記を務める吉沢です。
真心込めたサポートに努めて参ります。

議員が長期欠席した場合における報酬等の
特例に関する条例を制定しました。

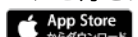
長期間にわたり議員の職務が果たせない場合において、議員報酬を減額することを定めたものです。出産の産前産後などの除外規定も定めています。

スマホアプリで白馬議会だより配信中！



マチイロ

マチを好きになるアプリ



お気軽に！ご意見をお寄せください！ ▶ gikai@vill.hakuba.lg.jp

85-0725(直通) 72-7001(ファックス)

R5年度議長交際費
HPに掲載しています



わたしのひとこと



菜の花

瑞穂 栗田 萌瑛

菜の花の季節が始まりました。寒い地域で冬に育つ野菜は甘くて冬の身体にはとっても嬉しい味ですが、少し暖くなったこの頃に出てくる菜の花の苦味が本当に大好きです。

いつもスキーができる冬が一番の楽しみで、ここに暮らしていると頭では思っているけれど、菜の花を食べると「この季節を待っていた！」と全身が喜ぶのを感じます。

私は白馬周辺のオーガニック野菜の直売所「えいようフーズ」を去年の7月にオープンしました。オーガニックで野菜を作られている方ならば農家さんでも家庭菜園の方でも出荷をしていただけます。

4月に入った今は並んでいるお野菜のほとんどが菜の花です。白菜、野沢菜、山東菜、からし菜、ブロッコリー、キャベツ、カブ…あらゆるアブラナ科の野菜の菜の花が並びます。ちょっとずつ違うその味、楽しんでもらえたら嬉しいです。



郷土を知ろう

八方口 松沢 佐智夫

長年時間に追われ、慌ただしい毎日の生活から離れて見ると、四季折々、日々刻々と景色が変わっていく様は、味わい深く、そして贅沢なものだとしみじみ感じ入っています。

この半世紀程の間、わずかばかりの農林業を主体として細々と生活をしてきた寒村が「山とスキー」の地としてにわかに全国デビューを果たし、今では世界的な地名度を得るまでにになりました。

大きく変わってきた白馬村ですが「意外と知らない地元の事」ってありませんか？

はるか昔から人々が生きてきた歴史や文化に触れる機会や知る機会を得ることで物の見方が変わり、深い理解ができるような気がします。

将来、新しい図書館の建設計画が進行し、歴史資料や文化資料の保存・公開がされることで、多くの村民が見聞を広げられることを望みます。



消防団長を務めて

深空 武田 望

令和6年4月1日をもって、消防団長の任を降り、28年間務めた消防団を退団となりました。統括分団長から6年間、消防団の幹部を務めている中で、新型コロナウイルスとの付き合い方と団員の処遇改善という難題がありました。

消防団の活動も軒並み自粛を余儀なくされる中で、災害発生時には自粛などおかまいなしの活動が求められます。感染拡大防止と消防力の維持を両立していく事には大変苦慮しました。

また、自粛後の操法訓練のあり方についても処遇改善を考慮しながらの運営となりました。今まで当たり前前の事が当たり前でなくなった時、様々な人達に助けられ、勇気付けられて乗り切って来られました。いろんな思いを抱きながらそれぞれの地区の団員達は頑張っています。今後も慈愛に満ちた叱咤激励をお願い致します。

ありがとうございました。

あとがき

2月終わり頃、「スーパードルニーニョが弱まってきた」とテレビの天気予報から聞こえてきました。でも雪は期待できないと思っていたが、3月には結構な積雪になりました。4月に入り車のタイヤを履き替えようと考えていたところ、1日には八方尾根のリーズンで雪が降りました。4月に入って雪が降るのも異常気象なのか、正常なのか困惑しますね。

新型コロナウイルスや各地の戦争でかき消されそうでしたが、2030年までに2010年比で60%以上の温室効果ガスを抑えなければ地球は元に戻れないと言われています。改めて気候変動対策に目を向けなければなりません。(切久保達也)

議会広報特別委員会

委員長	尾川 耕
副委員長	増井 春美
副委員長	加藤ソフィー
委員	丸山 和之
委員	横川 恒夫
委員	切久保達也
委員	津滝 俊幸
委員	丸山 勇太郎
議長	太田 伸子